

2022 年度 第1学期 理学部 生物学科		日英区分: 日本語
生体制御学IIIA Introduction to Chronobiology A		
■ 講義番号 059435	■ 科目区分	■ 学期 第1学期
■ ナンバリングコード NAAA0SCBZ4001N	■ 教室 理学部1号館22講義室	
■ 必修・選択の別		
■ 単位数 1		
■ 曜日・時限 木1~2		
■ 担当教員(ローマ字表記) 松井 鉄平 [MATSUI Teppei]		

■ 対象学生

理(全) [H28~R2年度入学生]

■ 他学部学生の履修の可否

可

■ 連絡先

tematsui@okayama-u.ac.jp

■ オフィスアワー

メールでアポイントを取ってください

■ 学部・研究科独自の項目

関連しない

■ 使用言語

日本語

■ 授業の概要

神経システムについて最近の知見を講義する。データ解析や、それに必須の数学・統計についても適示講義し、演習を行う。

■ 学習目的

神経システムは現代生物学の主要な研究対象であるため。

■ 到達目標

神経システムの概要を説明できる。神経データの解析を実践できる。関連する数学・統計を理解できる。

■ 授業計画

- 第一回 ガイダンス
- 第二回 神経システムの構造
- 第三回 神経システムの構造の解析
- 第四回 視覚に関わらう神経システム
- 第五回 視覚に関わらう神経活動の解析
- 第六回 聴覚に関わらう神経システム
- 第七回 聴覚に関わらう神経活動の解析
- 第八回 まとめ

■ 授業時間外の学習(予習・復習)方法(成績評価への反映についても含む)

授業において別途指示する

■ 授業形態

(1)授業形態-全授業時間に対する[講義形式]:[講義形式以外]の実施割合

80% : 20%

(2)授業全体中のアクティブ・ラーニング

協働的活動(ペア・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど)

やや多い

対話的活動(教員からの問いかけ、質疑応答など)

多い

思考活動(クリティカル・シンキングの実行、問いを立てるなど)

多い

理解の確認・促進(問題演習、小テスト、小レポート、授業の振り返りなど)

やや多い

(3)授業形態-実践型科目タイプ

該当しない

(4)授業形態-履修者への連絡事項

プログラミング(PythonかR)が必要になります

■ 使用メディア・機器・人的支援の活用

視聴覚メディア(PowerPointのスライド、CD、DVDなど)

やや多い

学習管理システム(Moodleなど)

やや多い

人的支援(ゲストスピーカー、TA、ボランティアなど)

やや少ない

履修者への連絡事項

字幕のないDVDを使用しますので、配慮が必要な場合は履修登録する前に担当教員に相談して下さい

■ 教科書

備考

■ 参考書

備考

■ 成績評価基準(授業評価方法)

質問や発表などの授業参加とレポートまたは試験により評価します

■ 受講要件

プログラミング(PythonかR)が必要になります

■ 教職課程該当科目

関連しない

■ JABEEとの関連

関連しない

■ 持続可能な開発目標(SDGs)

■ 実務経験のある教員による授業科目

■ 備考/履修上の注意

演習などの宿題が出ます